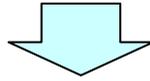


下流河川の環境を配慮したダム運用方法

下流河川の環境がダムのために悪化したと言われていませんか？

●業務の背景



ダムによる環境への影響が社会的に注目されています。

- 平時の流量・攪乱・土砂供給の減少等による下流河川の影響
- 減水・無水区間の発生
- 付着藻類の剥離更新頻度の減少
- 河床のアーマー化
- 「よどみ」の発生

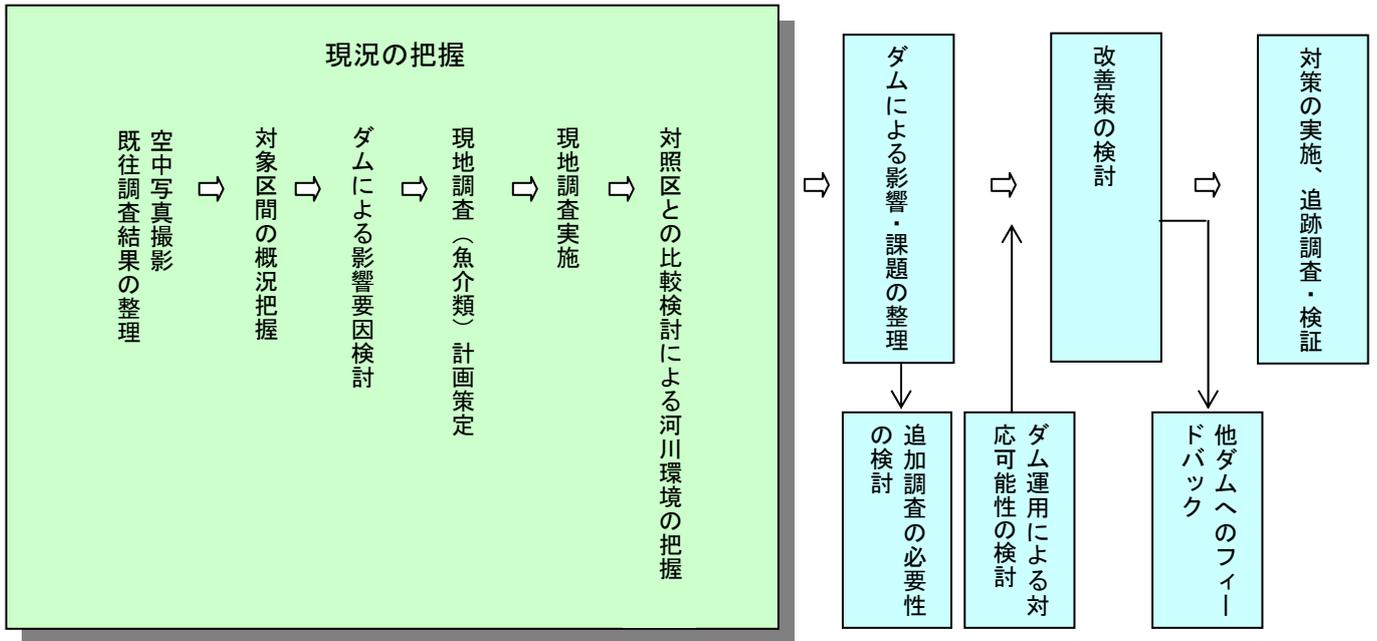
ダムによる下流河川への影響の回避、低減、河川環境の改善は、管理ダムの重要な課題となっています。



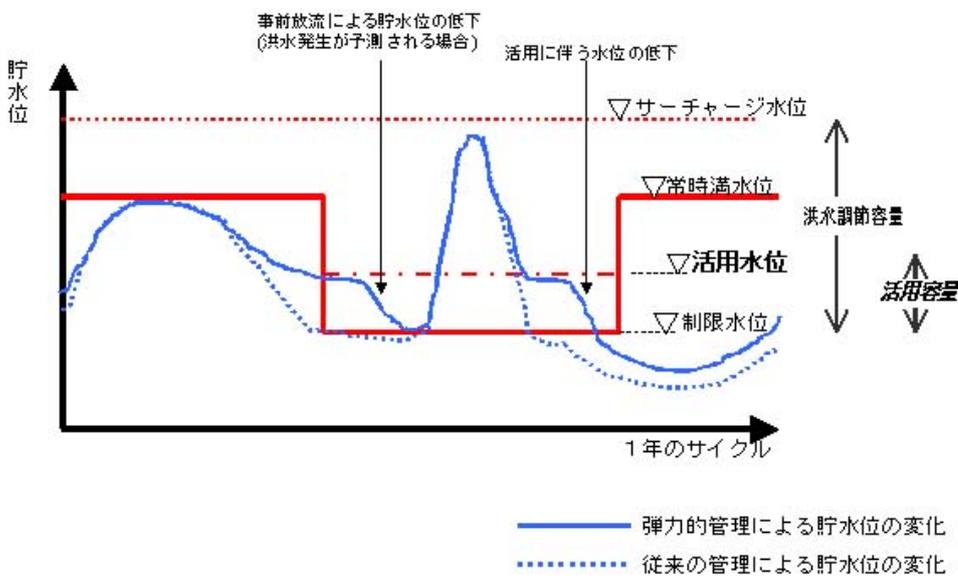
ダム建設前（イメージ）

ダム建設後（実写）

ダム建設がもたらす影響について調査検討を行い、
下流環境改善方法を提案します。



ダムの弾力的管理による下流環境の改善



弾力的管理に伴う貯水位変化の模式図

ダムの弾力的管理とは、洪水調節に支障をきたさない範囲で、降水量の多い梅雨や台風シーズンに空容量となっている洪水調節容量の一部に流水を貯留し(活用容量)、これをフラッシュ放流、一定量放流等の有効活用を行い、ダム下流の河川環境の整備と保全に役立てるものです。